

## 平成29年度「おおいた教育の日」推進大会 開催要項

- 1 目的 「おおいた教育の日」の趣旨を広く県民に周知し、学校、家庭及び地域社会が一体となった取組の推進をめざして、推進大会を開催する。
- 2 テーマ 共通テーマ 「手をつなぎ 広げていこう 教育の輪」  
年間テーマ 「教育のまちづくり  
～『学びの21世紀塾』に学ぶ～」
- 3 主催 大分県教育の日推進会議 大分県教育委員会 豊後高田市教育委員会
- 4 日時 平成29年11月1日(水) 13時00分～16時00分
- 5 場所 豊後高田市香々地公民館(豊後高田市)  
豊後高田市見目110
- 6 参加者 県民、学校教育・社会教育関係者等(約800名)
- 7 次第  
第1部(13:00～14:05)
  - ・開会行事(20分)  
主催者あいさつ(大分県教育の日推進会議会長 疋田 啓二)  
顧問あいさつ(大分県知事 広瀬 勝貞)  
開催市長あいさつ(豊後高田市長 佐々木 敏夫)
  - ・エッセー入賞者の表彰、朗読(45分)  
※各部門の最優秀賞(3作品)、優秀賞(6作品)、学校賞(3校)を表彰する。  
※朗読は各部門最優秀賞3作品  
～休憩(10分)～第2部(14:15～16:00)
  - ①実践発表及び学習成果発表(35分)  
学習成果発表…豊後高田市立高田中学校「Bon Dance」  
実践発表…豊後高田市立田染中学校「伝統文化教育実践記」  
～休憩(10分)～
  - ②講演・落語(60分)  
講師「柳亭 市馬」氏  
(一般社団法人落語協会会長 豊後大野市出身)  
※(時間)は予定です。ご了承ください。

# 平成29年度「おおいた教育の日」エッセーについて

## 1 応募状況

平成29年度エッセー応募状況

部門	応募数(点)
小学校の部	266
中学校・高等学校の部	1,345
大学等・一般の部	80
計	1,691

## 2 H26～H29の応募数の推移

応募数（参加校数）

	H29	H28	H27	H26
小学校	266 (24)	176 (10)	10 (10)	54 (5)
中学校	584 (20)	195 (10)	205 (8)	237 (8)
高等学校	761 (8)	999 (4)	603 (7)	855 (3)
大学等	63 (1)	12 (1)	0 (0)	7 (1)
一般	17	20	33	28

全部門総計

H29	H28	H27	H26
1,691	1,402	851	1,181

## 3 各部門の入賞者・校

## エッセーのテーマ「私が学んだこと」

## ・小学校の部

作品番号	賞	氏名	学校名	学年	作品タイトル・概要
1150	最優秀賞	ツチヤ ユリカ 土谷 百合花	豊後高田市立 桂陽小学校	6年	「あいさつの大切さを教えてくれたおじさん」 私を元気にしてくれたおじさんのあいさつは、私の心に深くきざまれた。おじさんのように私もだれかを元気にすることができると思うとわくわくする。このような素晴らしい経験をさせてくれたおじさんに感謝しながら、これからも心をこめて、出会った人にあいさつをしてきたい。
1149	優秀賞	ヤマダ サラサ 山田 更紗	豊後高田市立 桂陽小学校	6年	「父の姿に学んだ『挑戦』」 豊後高田市の秋の一大祭り「若宮八幡秋季大祭」に向けて弓道の練習に励む父の姿から、「挑戦」することのすばらしさや「勇気」の大切さに気づかされた。今、私は「仕舞」の練習に取り組んでおり、できるようになるのか不安を覚える。しかし、最大限の努力を重ねて、父から学んだ「挑戦」を続けていきたい。
1088	優秀賞	ヤギ ガルシア レイナ 八木 玲名	豊後高田市立 小中一貫校 戴星学園	4年	「クリーン作戦」 地域の人とごみ拾いを行うクリーン作戦の日、道路にごみはなかった。小学生が通ることを考えて、ごみのない、花いっぱい道路にしてくれる地域の人がある。クリーン作戦を通して、自分の生活のことでなく、他の人のことを考えて暮らすことの大切さを学んだ。私は、誰かのためになることを進んで行動できる人になりたい。

## ・中学校・高等学校の部

作品番号	賞	氏名	学校名	学年	作品タイトル・概要
2541	最優秀賞	サトウ リョウタ 佐藤 亮太	大分東明高等学校	2年	「家族」 高校では、サッカー選手になるという夢を追うために寮に入った。別れの日はいつもは涙もろい母も甘えてくる弟も妹も笑顔で見送ってくれた。しかし、あのと時の笑顔は、僕が不安にならないように作ってくれていたものだったということを知った。家族と離れたことで、自分にとってかけがえのない大切な宝物は家族ということに改めて気づいた。
2759	優秀賞	ナカヤブ ミカコ 中藪 実可子	大分県立 中津東高等学校 定時制	3年	「思い出コンペイトウ」 兄をライバルとして、少しでも近づけるように競ってきた私。しかし、どうしても敵わぬものがあった。それが川柳だった。そんな時、ひとつのチャンスがめぐってきた。それは、学校新聞の論説を任されたことだ。私は思った。紙面を通じて兄と勝負ができる。兄という存在は、私のライバルであり、私を支える心の糧になっている。
3276	優秀賞	ミヤザキ ココロ 宮崎 湖心	大分県立 大分豊府中学校	2年	「好きこそものの上手なれ」 職場体験を通して、働くことの意味が「生きるため」だけではないことに気づく。そして、職場体験先の店長さんの言葉「好きこそものの上手なれ」から、働くことの意味に「好きだから」ということが大切であることを学ぶ。わたしも「好きなこと」を大切に、自分の夢のためにがんばっていききたい。

## ・ 大学等 ・ 一般の部

作品番号	賞	氏名	居住地	作品タイトル・概要
4071	最優秀賞	アサヒ ヨウコ 朝日 容子	大分市	「せんせい」 私は、結婚してすぐに、大きな事故に遭い、長い入院生活を余儀なくされた。自暴自棄になっていたところ、中学時代の恩師からかけていただいた言葉で前向きになれた。その後も、その言葉のおかげで色々なことに挑戦する意欲も湧いた。『せんせい。』という本を読んだことをきっかけに、中学時代の恩師の言葉が蘇った。
4025	優秀賞	コジマ リョウコ 小島 涼子	別府溝部学園高等学校 看護専攻科 1年	「人への思いやり」 「大丈夫やけん。落ち着くまで一緒におるけんね。」 中学生の頃、近所の温泉で倒れたときの周囲の励ましの言葉は、看護師をめざす中で体験する多くの困難に立ち向かう原動力となっている。温かい声かけ、人への思いやりを大切にする看護師になることが目標である。
4026	優秀賞	スミ マリ 角 茉莉	別府溝部学園高等学校 看護専攻科 1年	「感謝を忘れずに」 極小未熟児で生まれながらも、家族や周囲の人に支えられながら成長した。人との関わりの中で、感謝の気持ちは素直な言葉で表すことを学び、「自分の頑張りが患者さんを笑顔にする」、「感謝の気持ちを忘れない」ことを心に刻み、看護師への道に邁進している。

## ・ 学校賞

NO.	校種	学校名
1	小学校	豊後高田市立 三浦小学校
2	中学校	豊後高田市立 河内中学校
3	高等学校	学校法人 扇城学園 東九州龍谷高等学校



# 教育のまちづくり

## ～『学びの21世紀塾』に学ぶ～



## 11月1日は「おおいた教育の日」

「おおいた教育の日」推進大会【開催日程】

日時 平成29年11月1日(水)  
13:00～16:00

場所 香々地公民館(豊後高田市)

講演 柳亭 市馬氏  
一般社団法人落語協会会長  
豊後大野市出身



伝統文化実践記(田畑中)



Bon Dance(高田中)

お問い合わせ先  
大分県教育の日推進会議事務局  
(大分県教育庁社会教育課内)  
☎ 097-506-5528

主催:大分県教育の日推進会議 大分県教育委員会 豊後高田市教育委員会

10月から11月は「おおいた教育の日」普及期間です 手をつなぎ 広げていこう 教育の輪